

6 中国・四国

60年ぶりの出雲大社「平成の大遷宮」

瀬戸内国際芸術祭2013や道後オンセナート2014など各地で
アートイベントが開催

(1) 都道府県レベルの旅行者動向

観光庁「宿泊旅行統計調査」によると13年1月から12月の中四国各県の延べ宿泊者数については、中四国全体では3,667万人泊となり、前年比5.0%増となった(図IV-6-1)。

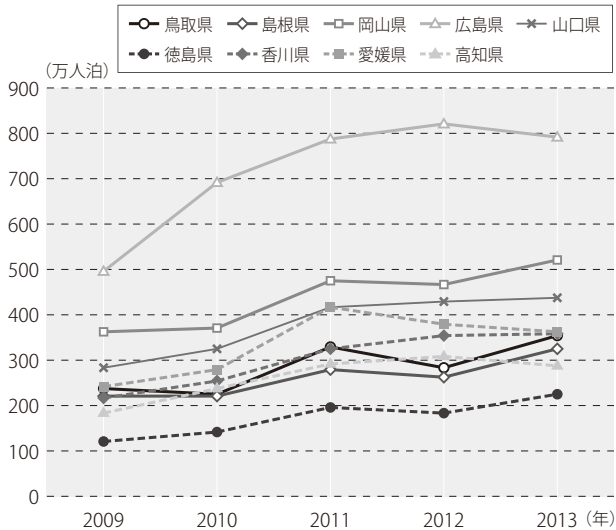
延べ宿泊者数が増加したのは、鳥根県(前年比24.6%増)、徳島県(同24.0%増)、鳥取県(同23.6%増)、岡山県(同11.8%増)、山口県(同2.0%増)、香川県(同1.0%増)となった。鳥取県・鳥根県については、13年に60年ぶりとなる出雲大社の「平成の大遷宮」が執り行われたことによる影響と考えられる。

一方で、延べ宿泊者数が減少したのは、高知県(前年比7.0%減)、愛媛県(同5.2%減)、広島県(同3.4%減)となった。

外国人延べ宿泊者数については、中四国全体では78万人泊となり、前年比1.8%増となった(図IV-6-2)。13年の訪日外国人観光客数は1,000万人を超え、全国的に外国人延べ宿泊者数が増加しているなか、中四国における増加率は最も低い結果となった。

外国人延べ宿泊者数が増加したのは、香川県(前年比122.4%増)、鳥取県(同18.6%増)、岡山県(同9.0%増)、愛媛

図IV-6-1 延べ宿泊者数の推移(中国・四国)

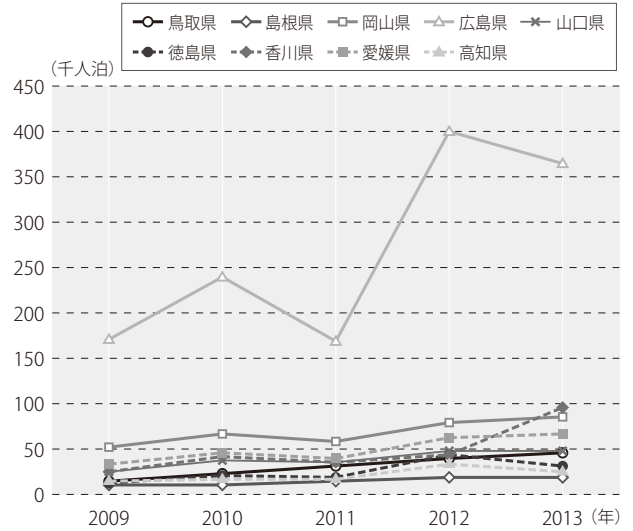


鳥取県	239	224	330	286	354
鳥根県	220	222	281	263	327
岡山県	364	370	475	467	522
広島県	492	691	789	822	794
山口県	281	325	418	429	438
徳島県	120	141	196	182	226
香川県	217	252	327	355	359
愛媛県	239	281	417	380	360
高知県	184	239	293	309	287

※～2010.3 従業員10人以上の宿泊施設を調査対象とする 単位：万人泊
2010.4～ 全ての宿泊施設を調査対象とする

資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」をもとに(公財)日本交通公社作成

図IV-6-2 外国人延べ宿泊者数の推移(中国・四国)



鳥取県	14	23	32	39	47
鳥根県	10	11	16	18	19
岡山県	52	67	59	79	86
広島県	172	239	170	401	366
山口県	25	37	37	48	46
徳島県	13	22	19	45	32
香川県	26	42	37	43	96
愛媛県	34	45	39	63	67
高知県	16	16	16	34	25

※～2010.3 従業員10人以上の宿泊施設を調査対象とする 単位：千人泊
2010.4～ 全ての宿泊施設を調査対象とする

資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」をもとに(公財)日本交通公社作成

県(同7.0%増)、鳥根県(同5.9%増)となった。13年3月に高松/台北桃園線(中華航空)の定期路線を開設したことにより、香川県では昨年度と比較して大幅に増加した。

一方で、外国人延べ宿泊者数が減少したのは、徳島県(前年比28.3%減)、高知県(同26.2%減)、広島県(同8.8%減)、山口県(同4.0%減)となった。

(2) 主要観光地の動向

●広島市

○域内交通・周遊の利便性に向けた取り組み

中国ジェイアールバス株式会社(以下、中国JRバス)は、13年4月より、広島市内中心部の観光地や美術館を循環する「ひろしま観光ループバス ひろしまめいぶる～ぶ」の運行を開始した。また、14年4月からは、2階建てオープン観光バス「めいぶるスカイ」の運行も始まっている。

広島市は、13年1月より、市内の宿泊客へのサービス向上を目的とし、「路面電車フリーパス」(広島電鉄株式会社)や「ひろしまめいぶる～ぶ1日乗車券」(中国JRバス)と観光施設や飲食店を特典付きで利用できる「優待券」をセットにした「広島おもてなしパス(HOP)」を導入した。利用者は、事業に参画している宿泊施設の宿泊パックを予約し、窓口で購入する仕組みとなっている。

○夜の魅力づくりに向けた取り組み

広島県民文化センターでは、広島県の伝統芸能である「広島神楽」の魅力を県民や観光客、修学旅行生に発信すること

を目的として、13年9月より、毎週水曜日夜に定期公演を開催している。入場料は1,000円で、1公演で1神楽団2演目を鑑賞することができる。

○訪日外国人旅行者受け入れ環境の整備

広島市は、訪日外国人旅行者の受入環境整備事業（観光庁）の一環として、民間事業者の協力のもと、12年12月に外国人旅行者向けの街角観光案内所「トラベルバル・インターナショナル」を開設した。「トラベルバル・インターナショナル」では、外国人旅行者に①観光マップ・パンフレットの配布、②観光・地理案内、③トイレや公衆無線LANの利用環境の提供などを行っている。14年2月現在で、広島市内の宿泊施設や飲食施設など33施設が認定されている。

●松山市・道後温泉

○道後温泉本館改築120周年の記念事業

松山市では、道後温泉本館が14年4月に改築120年を迎えるに当たり、アートフェスティバル「道後オンセナート2014」が開催されている。「道後オンセナート2014」は、「最古にして、最先端。温泉アートエンターテイメント。」をテーマとし、13年12月にプレオープン、14年4月にはグランドオープンし、同年12月まで実施される。アートディレクションおよび運営は地元NPOと若手クリエイターで構成された「道後アートプロジェクト」が行い、総合プロデュースはスパイラル/株式会社ワコールアートセンターが行っている。道後地区内の9軒の旅館・ホテルで9名のアーティストが空間演出した宿泊できる作品「HOTEL HORIZONTAL」や、道後温泉本館を使った作品、市民参加型の作品などが、道後温泉エリアで展開されている（表IV-6-1）。

表IV-6-1 「HOTEL HORIZONTAL」参加施設・参加アーティスト

旅館・ホテル名	アーティスト名、「作品名」
ホテル古湧園	荒木経惟、「楽園」
茶玻璃	石本藤雄、「Suuri Taiga/大草原」
ホテルルナパーク	KIKI、「Dogo Kamelie Hütte/椿ヒュッテ」
宝荘ホテル	草間彌生、「わが魂の記憶。そしてさまざまな幸福を求めて」
道後やや	ジャン＝リュック・ヴィルムート、「Time Science」
道後館	谷川俊太郎、「はなのいえ」
道後プリンスホテル	谷尻誠、「Sketch」
ふなや	葉山有樹、「藍」
花ゆづき	皆川明、「口」

資料：道後オンセナート2014ホームページより（公財）日本交通公社作成

(3) 注目すべきトピック

●出雲大社の「平成の大遷宮」

鳥根県は、歴史的な節目となる12年の「古事記編纂1300年」、13年の出雲大社「平成の大遷宮」を「しまね」の魅力発信する機会として、10年度～13年度を実行期間とし、4年間累計で観光入込客数延べ500万人増、観光消費額200億円を目標とする「神々の国しまね」プロジェクトを実施した。プ

ロジェクトでは、「しまね」への来訪の動機づくりとなる観光キャンペーンやイベントに加えて、滞在型の観光・旅行スタイルに対応できるようふるさと学習や観光ガイド育成などの地域づくりを行った。12年7月～11月には、シンボルプロジェクトである「神話博しまね」を実施した。

その他、遷宮や神話などでつながりのある奈良県、宮崎県、鳥取県や三重県との連携による観光PRやアンテナショップでの共同イベント、神話講座の開催などに取り組んだ。

●広島県デスティネーションキャンペーンの開催

広島県では、13年7月～9月に「瀬戸内ひろしま、宝しま」をコンセプトとした広島県デスティネーションキャンペーン（以下、広島DC）が開催された。広島DC期間中には、新たな域内交通として、瀬戸内の島を巡るクルーズや「広島神楽」を鑑賞するバスツアーが運行された。域内交通の取り組みは、広島DC終了後も、継続的に実施・拡大されている。具体的には、「広島湾宝しまクルーズ」運航エリアでもあった広島、宮島、呉、江田島を結ぶ定期航路を自由に周遊できるフリーきっぷの販売や、広島県・愛媛県の瀬戸内海の島しょ部を中心として開催する瀬戸内しま博覧会「瀬戸内しまのわ2014」（14年3月21日～10月26日）に合わせ、発着地に松山も含めた「御手洗 宝しまクルーズ」の販売を行っている。

●瀬戸内国際芸術祭2013の開催

香川県・岡山県では、第1回に引き続き「海の復権」をテーマとして「瀬戸内国際芸術祭2013」が開催された。26の国と地域から200組のアーティストが参加し、前回から新たに沙弥島、本島、高見島、粟島、伊吹島の5島が加わった計12の島と高松港・宇野港を会場として、207作品、40イベントが展開された。来場者数は、春会期（13年3月20日～4月21日 33日間）で26.3万人、夏会期（13年7月20日～9月1日 44日間）で43.5万人、秋会期（13年10月5日～11月4日 31日間）で37.2万人となり、計107万人となった。また、開催期間中、瀬戸内沿岸で開催されるアートイベントや地域活性化に関連する行事について、「瀬戸内国際芸術祭2013広域連携事業」として、ガイドブックやチラシでの相互連携による広報に取り組んだ（表IV-6-2）。

●「美作国建国1300年」記念事業の実施

岡山県では、13年4月～14年3月まで美作国^{みまさかのくに}の建国1300年を契機として、10市町村が連携し、情報発信や地域活性化に取り組む「美作国建国1300年記念事業」を実施した。主な事業として、美作地域出身の漫画家や作家の作品を用い、漫画『NARUTO-ナルト-疾風伝』のラッピング列車の運行や小説の謎解きを行いながら名所旧跡を巡るミステリーツアー、スタンブラリーなど約200の事業を実施した。

●徳島LEDアートフェスティバルの開催

徳島県徳島市では、3年に一度開催されている「徳島LEDアートフェスティバル」の第2回が、13年4月20日～29日に開催された。徳島市は、「ひょうたん島水と緑のネットワーク構想」に基づき、ひょうたん島を中心とする水を生かしたまちづくりを推進しており、「水都・とくしま」を発信することを目的として10年より「徳島LEDアートフェスティバル」を実施している。スーパーバイザーは、北川フラム氏が務めた。

表Ⅳ-6-2 瀬戸内国際芸術祭2013広域連携事業

開催地域		広域連携事業名	実施期間
兵庫県	神戸市	港で出会う芸術祭 神戸ビエンナーレ2013	13年10月1日～12月1日
	淡路市	淡路島アートフェスティバル2013	13年10月6日～11月4日
岡山県	岡山市	おかやま国際音楽祭2013	13年9月28日～10月14日
		第51回岡山市芸術祭	13年10月15日～14年1月31日
		中原浩大展「自己模倣」	13年9月27日～11月4日
	備前市	第31回備前焼まつり	13年10月19日・20日
	瀬戸内市	山本基展「たゆたう庭」—塩のインスタレーション—	13年2月5日～4月7日
		瀬戸内牛窓国際交流フェスタ2013	13年11月3日・4日
	美作地域	美作国建国1300年記念事業	13年4月3日～14年3月31日
広域	廻遊 一海から山から一	13年9月6日～12月25日	
山口県	山口市	アートと環境の未来・山口YCAM10周年記念祭	第1期:13年7月6日～9月1日 第2期:13年11月1日～12月1日
愛媛県	今治市	伊東豊雄×山崎亮ワークショップ／対談	13年7月21日
	宇和島市	AT ART UWAJIMA 2013	13年7月24日～8月22日
徳島県	徳島市	徳島LEDアートフェスティバル2013	13年4月20日～4月29日
	鳴門市	大塚国際美術館開館15周年記念 15年のありがとう!	13年4月1日～14年3月31日

資料：瀬戸内国際芸術祭2013総括報告より（公財）日本交通公社作成

●隠岐ジオパークが世界ジオパークに認定

島根県の島前（西ノ島町、海士町、知夫村）、島後（隠岐の島町）によって構成されている隠岐ジオパークは、13年9月に世界ジオパークに加盟認定された。世界ジオパークは、04年にユネスコの支援により設立された世界ジオパークネットワークが審査・認定を行っているもので、認定には、地質学的価値だけでなく、地域住民を中心とした運営組織や、経済活性化と持続可能な開発などが求められる。隠岐ジオパークでは、行政やガイド団体、民間事業者から構成された「隠岐ジオパーク戦略会議」を中心組織として、寄付付きのソーシャルアプリの開発・販売などにより自主財源確立に関する事業や認定ガイド制度の導入などのガイド協会機能の育成に資する事業に取り組んでいる。

●山陰海岸ジオパークの取り組み

08年に日本ジオパークに認定された山陰海岸ジオパーク（鳥取県鳥取市・岩美町、兵庫県香美町・豊岡市・新温泉町、京都府京丹後市）は、4年に1度行われる再審査の結果、13年12月に日本ジオパークに再認定された。再認定では、13年4月に整備された「山陰海岸ジオパークガイド」認定制度などの取り組みが評価された。「山陰海岸ジオパークガイド」認定制度では、第1種・第2種の二つの区分を設けており、ガイドになるためには山陰ジオパークガイド養成講座を全て受講するなどの要件を設定している。

●愛媛県マルゴト自転車道の推進

愛媛県は、広島県尾道市から愛媛県今治市をつなぐ瀬戸内しまなみ海道を中心として、県全体でサイクリングパラダイスを目指す「愛媛マルゴト自転車道」を推進している。この取り組みでは、県と市町の連携により、サイクリングコースの設定、ブルーライン・コース案内板などのハード整備や利便性向上

のためのレンタサイクルや情報提供などのソフト対策に取り組むこととしている。

13年4月には、高低図や休憩・水分補給を行うための道の駅や周辺の観光情報が掲載された「全県版サイクリングマップ（疾走マップ）」を作成した。14年4月には愛媛県と日本マイクロソフト株式会社の連携により「愛媛マルゴト自転車道サービスサイト」（ウェブサイト）が公開された。また、14年10月には、西日本電信電話株式会社愛媛支店とNTTメディアサプライ株式会社により、愛媛県今治市と広島県尾道市を結ぶ「瀬戸内しまなみ海道」において、無料Wi-Fiが整備される予定である。

その他、広島県尾道市には、14年3月にサイクリスト向けの複合施設「ONOMICHI U2」がオープンした。「ONOMICHI U2」は、元倉庫を改装したもので、広島県出身の建築家谷尻誠氏によりデザインされた。ホテルでは、自転車に乗ったままチェックインができ、全室に自転車を持ち込むことができる。また、施設内には、自転車に乗ったまま購入できるサイクルスルーカウンターのあるカフェやサイクルショップ「ジャイアントストア尾道」もオープン、コインシャワーの設置など、サイクリストのニーズに応えた施設になっている。尾道市は、14年3月より、サイクリスト向けの宿泊施設を紹介する「しまなみ自転車旅の宿」（ウェブサイト）を開設した。また、本州四国連絡高速道路株式会社（以下、本四高速）のホームページによると、本四高速や広島県、愛媛県などとの協力により、14年7月～15年3月の期間限定で「瀬戸内しまなみ海道」の自転車通行料金が無料化された。

●周遊を促すパスポートへの取り組み

高知県では12年4月より、県内の主な観光施設で提示すると特典を受けることができる「龍馬パスポート」の発行を実施

している。「龍馬パスポート」は、県内の約500の観光施設などで料金割引などの特典を受けることができる。また、参加施設のスタンプを集めていくことで、パスポートのステージが上がり、特典の内容も充実するという仕組みになっている。12年6月には香川県で「うどん県パスポート」(12年6月～14年3月、14年4月にはうどん店情報を追加した「うどん県公式パスポート」が登場)、13年10月には徳島県で「おどる宝島!パスポート」(13年10月～15年3月予定)が発行された。

●鉄道ホビートレインの運行

四国旅客鉄道株式会社(以下、JR四国)は、13年10月に、予土線を走るトロッコ列車「清流しまんと号」を水戸岡鋭治氏によるデザインでリニューアルし、「しまんトロッコ」として運行を開始した。また、13年5月には、11年7月より運行している「海洋堂ホビートレイン」の外観をリニューアルした。さらに、14年に予土線の全線開通40周年および宇和島駅～近永駅間開通100周年を迎えるに当たり、14年3月より、0系新幹

線を模した「鉄道ホビートレイン」を運行している。これにより、宇和島駅(愛媛県)～窪川駅(高知県)には、3種類のホビートレインが運行されることになった。JR四国では、これらを「予土線3兄弟」とし、スタンプラリーの実施や複数のホビートレインに乗ることができるモデルコースなどを設定している。

●有名漫画を活用したPRの取り組み

山口県は、12年12月の岩国錦帯橋空港の開港を契機として、「やまぐち往還観光キャンペーン」を実施した。事業の一環で、県の観光部門を民営化したという設定で架空の「(株)おいでませ山口県」を設立し、山口県岩国市出身の漫画家弘兼憲史氏の作品『島耕作』を初代社長として活用している。13年度は、「美食王国やまぐち」をキーワードとし、山口県的美食を紹介するグルメサイトの開設や首都圏や関西圏でのPRなどに取り組んだ。

(高崎恵子)